

補足説明

これが松本の 1/3 の新年会以上に定着すれば、

夏(6月)の成人式をしてもらった若手会員は

県陵同窓会の存在を肌で感じ、次年度からも参加する者が

徐々に増えていくことが期待できます。

そして初参加の成人は、行ってみて1つ、2つ、3つ上……の若い先輩が

いれば、

自ずと交流が生まれ、大学同窓の者もいるでしょうし、

業界や会社が一緒の者も生まれることでしょう。

少なくとも、現状のままでは衰退はあっても発展は期待できません。

会費も枯渇が見えており、若い人をいかに呼ぶかを叫んでいても、

何も成果を上げられていないのが現状です。

何らかの、新しい、自然と若い人が来たくなるような「かたち」「器」「しく

み」を

作ることが重要かつ喫緊の課題です。

ありとあらゆることを、どんどん試していくけばいいのです。

最初からこれは大成功する、というものはないです。

私が前から申し上げているように、幹事会では、決まりきった議題は書面で十分であり、二時間のうちの最低でも1時間は、こういう重要なことに議論の時間を割くべきです。

もしくは、課題・戦略だけを議論する幹事会を、年に一度は最低すべきです。

- ・若手会員増強・活性化はどうするか
- ・会費収入増強するにはどうするか
- ・新しいイベントの創出と実行

～今は懇親会・県陵レディース・同好会しかない。

異業種交流会・ビアパーティや屋形船ツアーなどの納涼イベント・

若手婚活イベント 等々

★そんなの無理、誰がやるのか、否定するのは簡単です。

要は、こういうことを皆で真剣に時間を取って話し合い、アイデアを出し合う

ことから始めることが重要なのです。何もしなければ、何も生まれません。

こういうことを始めていくことで、実行可能な新しい企画・イベントが出てくると確信します。

1/3 の松本の新年会での成人式に出るのは、地元の者が多いと推測できます。

上京組は帰省して家族や友人に会うので、三が日の貴重な一日にやる新年会

には出にくいです(事実、私もそうです。家族優先します)。

在京の大学生は6月は帰省の時期ではなく東京にいる期間なので、開催の情報さえ伝われば結構集客は期待できると考えます。

定着さえすれば、好循環が期待できます。

どのように集めるか

・松本が毎年どうしているかをまず確認、良い方法なら真似る

松本の会報に掲載してもらう

東京のホームページに掲載

去年応援パフォーマンスしてくれた女性(今年 19 歳?)に聞いて先輩

人脈を頼る

...

頭を使えば、いくらでも方法はあります

- ・二木君が松本のどこにどうアプローチしているか確認
- ・学校から情報取れないかやってみる
- ・新規のことをやるのだから、ゼロから皆で知恵をしぼり出す

去年応援パフォーマンスしてくれた女性は、昨年時点で卒業して一年目で、

6月は新年度ですから、まさに「成人」になる年のはずです！

成人式対象者です。

私だったら彼女にまずアプローチし、首都圏に出てきている同期すべてに声掛けをしてもらいます。

仮に

対象者が 50 人いたとして、全員のことを知らなくても女子は男子より付き合いが多いので、

5人は誘えるでしょう。

そしてその 5 人が 1 人 3 人ずつ誘えば 20 人になる計算です。

やってみる価値はあると思いませんか？！！！！

とにかく、ぜひ皆さんにぶつけてみてください。

保守的なお考えの方が多いと思いますが、賛同してくれる方がそこそこいることを祈ります。

皆様におかれましては、

そんなのできるかなあ

ではなく

できるためには、どうするか？！

という、仕事上でもよく直面する問題に立ち向かうスタンスで

ディスカッションしていただきますよう、お祈りしております。

私が議論を誘導できれば良いのですが、それはかないませんので、

最後のお願い事項として、皆様にお託します。

ぜひとも、よろしく願いいたします。

福井

iPhone から送信